



2019年2月28日

各位

会社名 塩野義製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 手代木 功
(コード番号 4507 東証第一部)
問合せ先 広報部長 京川 吉正
TEL (06) 6209-7885

長崎大学とのマラリアを中心とした 感染症分野における包括的連携に関する協定締結について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、国立大学法人長崎大学（所在地：長崎県長崎市、学長：河野 茂、以下「長崎大学」）との間において、「マラリアを中心とした感染症分野における包括的連携」に関する協定を締結しましたので、お知らせいたします。なお、本件は2018年5月9日に発表した戦略的事業投資の一環です。

本協定に基づき、長崎大学熱帯医学研究所に共同研究部門として「シオノギグローバル感染症連携部門」を設置し、マラリアに対する創薬研究を加速推進いたします。当部門では、マラリアの生活環および宿主側の防御機構の解明など、マラリアの予防、診断および治療に必要な研究に5年間取り組み、その知見を基に革新的な新薬の創製を目指します。

マラリアは、エイズ、結核と並ぶ世界三大感染症の一つであり、主に熱帯、亜熱帯地域で流行している感染症です。新規患者は年間約2.2億人、死亡者は年間約44万人に上ると報告されています¹。予防ワクチンの有効性が十分ではなく、既存の治療薬に耐性を示す原虫が増加してきていることから、マラリアは人類の脅威として世界的に深刻視されており、その克服は国際社会の指針として「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」にも掲げられています。

本協定において、長崎大学と塩野義製薬は、国内外の産学連携による新たなオープンイノベーション拠点の核となり、マラリア撲滅を目指したプラットフォームを構築し、「医学の発展」と「最もよい薬」の継続的な提供を通じて、社会の持続可能な成長と世界中の人々の健康に貢献できるよう努力してまいります。

なお、本件が2019年（平成31年）3月期の業績に与える影響は軽微です。

以上

参考：

1. [WHO,2018](#)